

新原海軍炭鉱の創業記念碑

海軍炭鉱・国鉄炭鉱の遺跡群 (3)

引き続き、新原公園内の記念碑の紹介です。前回取り上げた「海軍炭礦創業記念碑」(昭和十三年建立)に対応して、その歴史を書いた「史碑」があります。

● 表 海軍炭礦創業記念史碑 (題額)

沿革 (略)

歴代燃料廠長 (いずれも人名、略)

歴代採炭部長

歴代業務課長

歴代会計課長

歴代医務課長

裏 海軍炭礦創業記念碑

建設費義捐者芳名 (略)

● 詳細な内容は略しましたが、表は歴代の役職者たち、裏には寄付者の名前が書かれています。鎮魂碑は海軍炭鉱の殉職者の慰霊のために建てられたもの。建之は「これをたつ」、「移茲」は「ここにうつす」と読みます。

● 表 鎮魂碑

為海軍採炭所公務殉難者

大正貳年参月所員以下一同建之

裏 昭和十三年十一月二十日移茲

次に、「新原宮縁起」「山神社由緒」「五穀神社誌」と書かれた碑。縁起も由緒も誌も、由来の説明です。新原宮に山神社を合祀し、二月月後に五穀神社を移したと書かれています。

● 表 新原宮縁起

祭神 天照皇大神宮 宝満宮 八幡宮

祭典 四月十五日 七月十五日 十月十七日

由緒 昭和二十二年勸請 地藏堂安置

昭和四十年三月 山神社遷宮ト同時合祀

● 左 山神社由緒

本社八明治中世迄桜原十五番地二鎮座在リシガ、海軍採炭所事業ノ為、宮前百九十番地二遷宮セラレ、爾来崇拜ノ処、大正七年海軍燃料廠採炭部事業拡大強化ト共ニ、崇神ノ念亦昂リ、桜原十六番地二遷座、盛儀祭典、歳々勤奉セラルル処、海軍廃止ト共ニ類レ、荒廢セントス。因テ之地二遷シ、住民ノ守護神トシテ祀ル。

● 裏 宮司松本素人発起

宮世話人 賛 助

須恵町長原田昇

- 区長総代 原田太助 湯下角平
- 新栄社長 永島武雄
- 同代理 安川繁夫 江頭勲介
- 同専務 高橋知勝
- 区会計 中牟田久太郎 田中喜太郎
- 新原礦長 山田康雄
- 総代協議員 湯下慎吾 天野時次郎
- 協議員 安高克己 原田亀雄
- 協議員 松尾春夫

● 右 五穀神社誌

五穀神八明治中世、桜原十五番地ヨリ宮前百九十九番地二遷座セラレ、毎歳四月十五日、五穀豊穰ヲ祈念シ、御屋籠ヲ勤行。昭和四十年五月、当所遷

